

(様式第 9)

獨医大病庶第 45 号
平成 21 年 10 月 5 日

厚生労働大臣 長 妻 昭 殿

開設者名 学校法人獨協学
理事長 寺 野

獨協医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 20 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	75 人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	514人	4.6人	518.6人	看護業務補助	70人	診療エックス線技師	人
歯 科 医 師	21人	0.0人	21.0人	理学療法士	10人	臨床検査技師	78人
薬 剤 師	58人	人	58.0人	作業療法士	4人	衛生検査技師	人
保 健 師	人	人	人	視能訓練士	4人	その他	10人
助 産 師	19人	人	19.0人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	2人
看 護 師	864人	42.4人	906.4人	臨床工学技士	17人	医療社会事業従事者	9人
准 看 護 師	5人	8.5人	13.5人	栄 養 士	8人	その他の技術員	11人
歯科衛生士	4人	人	4.0人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	215人
管理栄養士	17人	人	17.0人	診療放射線技師	62人	そ の 他 の 職 員	62人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	985.5 人	21.0 人	1,006.5 人
1日当たり平均外来患者数	2,189.7 人	98.6 人	2,288.3 人
1日当たり平均調剤数			4,100.2 剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	50人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	2人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	5人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	5人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第VII因子欠乏症、先天性アンチトロンビンIII欠乏症、先天性ヘパリンコファクターII欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	2人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	100人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	13人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージ又はIIの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、ファンタン分類III度又は同分類IV度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜瘢痕、瞼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷瘢痕その他の重症の癒痕性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	2人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
31P—磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体塞素処理骨移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下膝切除術(インスリーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膝管内腫瘍その他の膝良性腫瘍に係る膝体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードVの高度逆流症を除く。))に係るものに限る	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャー病(重篤な虚血性心疾患又は脳血管障害を有するものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	16人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るものに限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないものに限る。)	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るものに限る。)	有・無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)	有・無	5人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るものに限る。)	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るものに限る。)	有・無	2人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るものに限る。)	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るものに限る。)	有・無	35人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るものに限る。)	有・無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。)	有・無	8人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・無	2人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はヒオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酸素欠損症に係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酸素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類Ib期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人
PET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、し傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第七十六号の「(1)疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。))	有・無	人

内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。)又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	3人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	68人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性腺維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	2人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	3人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHIF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、その他の高度医療欄に記入すること。

その他の高度医療

医療技術名	修正型電気痙攣療法	取扱患者数	80人
当該医療技術の概要			
難治性うつ病、薬物治療抵抗性の統合失調症患者に対して、麻酔科医の協力の下、筋弛緩薬を投与し、痙攣をした状態にて、サイマトロンを用いて行っている。施行患者数は年間約80名、施行件数は約400件である。			
医療技術名	脳電図トポグラフィ	取扱患者数	60人
当該医療技術の概要			
20channel脳電図LORETA解析による前頭葉機能障害の判定、治療。			
医療技術名	光干渉断層法(OCT)を用いた冠動脈プラーク診断と冠血管形成術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
光干渉断層法(OCT)により冠動脈プラークの組織性状を診断し、その結果によりバルーン・ステントを選択し、冠血管形成術を行う。こうした方法により冠血管形成術の合併症を予防し、長期予後改善が期待出来る。			
医療技術名	埋込型除細動器移植術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
自動的に致死性心室性頻拍を感知し高頻度刺激やショックパルスを発生し除細動を行う装置を体内に埋め込むもの。			
医療技術名	血管内超音波検査	取扱患者数	80人
当該医療技術の概要			
冠動脈の動脈硬化（石灰化、アテローム硬化、血栓の有無）などについて詳細な評価を行う。			
医療技術名	経皮的冠動脈血栓吸引術	取扱患者数	54人
当該医療技術の概要			
冠動脈内の血栓に対して吸引カテーテル(レスキュー、スロンバスター、パークサージ)にて血栓を吸引除去するもの。			
医療技術名	血漿交換療法	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
劇症肝炎やギラン・バレー症候群における障害因子を除去するために体外循環を行い血漿を濾過置換する。			
医療技術名	血液吸着療法	取扱患者数	28人
当該医療技術の概要			
膠原病において自己免疫性の障害因子を除去するために体外循環によるカラム吸着療法を行う。 その他、LDL吸着やエンドトキシン吸着などがある。			
医療技術名	心室再同期療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
冠静脈洞および右室にペースメーカーリードを挿入し、左右心室を同時に刺激するペースメーカー装置を体内に埋め込むもの。			

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	135人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	41人
・多発性硬化症	78人	・ウェゲナー肉芽腫症	14人
・重症筋無力症	102人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	148人
・全身性エリテマトーデス	330人	・多系統萎縮症	58人
・スモン	2人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3人
・再生不良性貧血	50人	・膿疱性乾癬	27人
・サルコイドーシス	166人	・広範脊柱管狭窄症	8人
・筋萎縮性側索硬化症	58人	・原発性胆汁性肝硬変	45人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	335人	・重症急性膵炎	10人
・特発性血小板減少性紫斑病	176人	・特発性大腿骨頭壊死症	27人
・結節性動脈周囲炎	45人	・混合性結合組織病	53人
・潰瘍性大腸炎	405人	・原発性免疫不全症候群	8人
・大動脈炎症候群	17人	・特発性間質性肺炎	22人
・ビュルガー病	15人	・網膜色素変性症	46人
・天疱瘡	19人	・プリオン病	2人
・脊髄小脳変性症	80人	・原発性肺高血圧症	7人
・クローン病	159人	・神経線維腫症	28人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	14人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	291人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	10人
・アミロイドーシス	2人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	1人
・後縦靭帯骨化症	81人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	1人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1か月に1回程度		
剖検の状況	剖検症例数	60 例	剖検率 10.9 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

研究費補助金等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
転座型白血病の分子機構と分子標的療法	三谷 絹子	内科学(血液)	8,500,000	補委 文部科学省
新しく確立した乳幼児急性脳症における中枢性ベンゾジアゼピン受容体の脳内分布	今高 城治	小児科学	1,100,000	補委 文部科学省
ゲノム薬理学的手法によるパニック障害治療における最適なパロキセチン血中濃度の探索	佐伯 吉規	精神神経医学	1,100,000	補委 文部科学省
ハチアレルギーにおける重症度マーカーの解析とIgEをターゲットとした治療の研究	平田 博国	内科学(呼吸器・アレルギー)	1,500,000	補委 文部科学省
ゲノム薬理学的手法によるパニック障害治療におけるファーマコダイナミクス解析	上田 幹人	精神神経医学	1,000,000	補委 文部科学省
自己免疫性ニューロパチーの新規標的分子同定と疾患モデル樹立	船越 慶	内科学(神経)	2,400,000	補委 文部科学省
頸動脈推定血圧の有効性と脳卒中発症の関連についての研究	竹川 英宏	内科学(神経)	600,000	補委 文部科学省
虹彩レーザー治療後の水疱性角膜症に対する活性酸素の影響に関する研究	高山 良	眼科学	700,000	補委 文部科学省
食道再建における吻合部位の治癒過程に関する実験的研究	沖 正直	形成外科	500,000	補委 文部科学省
転写因子による造血制御機構の解析	三谷 絹子	内科学(血液)	4,600,000	補委 日本学術振興会
Runx1の標的遺伝子の網羅的スクリーニングおよび発生工学的機能解析	山形 哲也	内科学(血液)	700,000	補委 日本学術振興会
難治性小児白血病におけるアポトーシス抑制蛋白SURVIVINの発現機構の解明	黒澤 秀光	小児科学	1,000,000	補委 日本学術振興会
パニック障害に対するオーダメイド薬物治療計画立案のためのゲノム薬理学的研究	下田 和孝	精神神経医学	1,100,000	補委 日本学術振興会
嗅粘膜分泌異常における活性好酸球の関与～嗅覚障害の発症と改善のメカニズムの解明	春名 真一	耳鼻咽喉科学	600,000	補委 日本学術振興会
サイログロブリン遺伝子異常における甲状腺腫発生機構の解明	家入 蒼生夫	臨床検査医学	1,100,000	補委 日本学術振興会
CGHアレイによる統合失調症リスク遺伝子の検索と機能解析	尾關 祐二	精神神経医学	1,700,000	補委 日本学術振興会
頸動脈小体と低酸素性化学受容体伝達の遺伝学的個体差について検討	山口 重樹	麻酔科学	500,000	補委 日本学術振興会
循環調節ペプチドを利用した診断・管理・治療に関するトランスレーショナルリサーチ	錦見 俊雄	内科学(循環器)	1,800,000	補委 日本学術振興会
テトラヒドロピオプテリンの血管内皮保護作用とその機序に関する検討	服部 良之	内科学(内分泌代謝)	1,900,000	補委 日本学術振興会
白血病に対するデオイペプチドを用いた新規分子標的療法の開発に関する研究	牧 和宏	内科学(血液)	1,500,000	補委 日本学術振興会
パーソナリティ障害合併の気分障害・不安障害の発症・経過・転帰決定因子の探索研究	大曾根 彰	精神神経医学	700,000	補委 日本学術振興会
胎生期性ホルモンの空間認知能への影響を粘土の造形表現からみた検討	有阪 治	小児科学	200,000	補委 日本学術振興会
IgG4関連肺疾患の存在と病態の解析	熊野 浩太郎	内科学(呼吸器・アレルギー)	1,600,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
骨髄異形成症候群に対する病態解明・治療法に関する研究	三谷 絹子	内科学（血液）	21,000,000	補 委	厚生労働省
ポジトロンCTのがん診断への応用と診断制度向上に関する研究	村上 康二	PETセンター	12,116,000	補 委	厚生労働省
生存率とQOLの向上を目指したがん切除後の形成再建手技の標準化	朝戸 裕貴	形成外科	2,000,000	補 委	厚生労働省
小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良その他有効性及び安全性の確保のあり方に関する研究	有阪 治	小児科学	500,000	補 委	厚生労働省
NSAIDS不耐症の病態解明と診断治療指針作成に関する研究	春名 眞一	耳鼻咽喉科	2,500,000	補 委	厚生労働省
高血圧管理におけるガイドラインの遵守と目標達成度に関する研究	南 順一	内科学（循環器）	1,200,000	補 委	厚生労働省
新しい診断機器の検診への応用とこれらを用いた診断制度の向上に関する研究	中村 哲也	消化器内視鏡センター	3,000,000	補 委	厚生労働省
画像によるがんの診断、治療法選択、治療効果判定に関する研究	楳 靖	放射線医学	1,000,000	補 委	厚生労働省
急性心筋梗塞病と脳卒中に対する超急性期診療体制の構築に関する研究	菊地 研	内科学（心血管・肺）	500,000	補 委	厚生労働省
新規に発生しているレンサ球菌による劇症型感染症の臨床的・細菌学的解析と診断・治療に関する研究	吉田 敦	臨床検査医学	1,000,000	補 委	厚生労働省
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	野原 裕	整形外科	1,000,000	補 委	厚生労働省
同産期・小児・生殖医療におけるHIV感染対策に関する集学的研究	大島 教子	産科婦人科学	2,600,000	補 委	厚生労働省
子宮体がんに対する標準化学療法確立に関する研究	深澤 一雄	産科婦人科学	1,000,000	補 委	厚生労働省
睡眠医療における医療機関関連ガイドラインの有効性検証に関する研究	宮本 雅之	内科学（神経）	600,000	補 委	厚生労働省
重症心身障害児（者）の病因・病態解明、治療・療育、および施設のあり方に関する研究	山内 秀雄	小児科学	1,000,000	補 委	厚生労働省
職業性石綿ばく露による肺・胸膜病変の経過観察と肺がん・中皮腫発生に関する研究	荒川 浩明	放射線医学	主任一括計上	補 委	厚生労働省
片頭痛に対する画期的治療法の開発に関する研究	平田 幸一	内科学（神経）	主任一括計上	補 委	厚生労働省
乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験	高田 悦雄	超音波センター	主任一括計上	補 委	厚生労働省
全国規模の他施設共同ランダム化比較試験と背景因子分析に基づく早産予防ガイドラインの作成	渡辺 博	総合周産期母子医療センター	主任一括計上	補 委	厚生労働省
抗精神病薬と抗うつ薬のファーマコジェネティクス	下田 和孝	精神神経医学	主任一括計上	補 委	厚生労働省
miRNAによる造血制御機構の解析	三谷 絹子	内科学（血液）	4,000,000	補 委	文部科学省
急性および慢性虚血モデルにおける特異蛋白の探索とProteomics解析	小林 直彦	内科学（循環器）	4,000,000	補 委	文部科学省
循環調節因子の心血管系疾患の診断・治療への基礎と臨床応用	錦見 俊雄	内科学（循環器）	4,000,000	補 委	文部科学省
低アディポネクチン血症の成因と治療	服部 良之	内科学（内分泌代謝）	4,000,000	補 委	文部科学省
トランスジェニックマウスを用いたプレオマイシン誘発肺線維症モデルの病態機序の解析	福田 健	内科学（呼吸器・アレルギー）	3,800,000	補 委	文部科学省
ラット全胎児培養を用いた肝再生法の確立	澤田 登起彦	第二外科学	4,000,000	補 委	文部科学省
HBV侵淫地域（中国、アフリカ）における新しいHBV母子感染予防法（獨協医大方式）の協同臨床治験	稲葉 憲之	産科婦人科学	3,104,000	補 委	文部科学省

計50

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Jpn J Clin Oncol. Jan 39:33-36. Epub 2008.	Comparison of 5-fluorouracil-related gene expression levels between adenocarcinomas and squamous cell carcinomas of the lung.	Ishihama H, Chida M, Araki O, Karube Y, Seki N, Tamura M, Umezumi H, Honma K, Masawa N, Miyoshi S	病理学 (形態)
J Clin Exp Hematop 48:39-45, 2008.	Follicular variant of hyaline-vascular type of Castleman's disease: histopathological and immunohistochemical study of 11 cases.	Kojima M, Shimizu K, Ikota H, Ohno Y, Motoori T, Itoh H, Masawa N, Nakamura S	病理学 (形態)
Pediatr Blood Cancer. 50:1274-1276, 2008.	Hepatoblastoma in a Noonan syndrome patient with a PTPN11 mutation.	Yoshida R, Ogata T, Masawa N, Nagai T	病理学 (形態)
日本臨床細胞学会誌47: 377-380, 2008	術中腹水細胞診で推定しえたdesmoplastic small cell tumorの一例	土田秀、小島勝、上山晴美、田中良太、中里宣正、飯島美砂、杉原志郎、正和信英	病理学 (形態)
羊土社 東京, pp186-195, 2008	第13章前立腺 下正宗編, 正常画像と比べてわかる病理アトラス	下正宗, 新井富生, 武内英二, 寺島剛, 菅井有, 村田哲也, 鬼島宏, 立山義明, 西原隆, 森谷卓也, 津田均, 山本宗平, 小山徹也, 瀬川篤記, 長嶋洋治, 矢尾正祐, 稲山高明, 都築豊徳, 青木一郎, 前田隆, 石田剛, 鈴木博義	病理学 (形態)
The Journal of pediatrics 152:445-6, 2008.	Congenital left brachiocephalic vein and superior vena cava aneurysms in an infant: final update with autopsy findings.	Nitta A, Nishikura K, Fukuda H, Yoshihara S, Hirao J, Arisaka O, Matsuda H :	病理学 (形態)
A report of two cases. Pathology oncology research : POR 14:489-492, 2008.	Tonsillar lesions of infectious mononucleosis resembling MALT type lymphoma.	Kojima M, Kitamoto Y, Shimizu K, Matsuda H, Masawa N	病理学 (形態)
医学書院, 2008.	消化管の病理学 第2版.	藤盛孝博	病理学 (人体分子)
Gastroenterology 135:889-898, 2008.	Activation-induced cytidine deaminase links between inflammation and the development of colitis-associated colorectal cancers.	Endo Y, Marusawa H, Kou T, Nakase H, Fujii S, Fujimori T, Kinoshita K, Honjo T, Chiba T	病理学 (人体分子)
Am J Gastroenterology 103:2700-2706, 2008.	Efficacy of the invasive/ non-invasive pattern by magnifying chromoendoscopy to estimate the depth of invasion of early colorectal neoplasms.	Matsuda T, Fujii T, Saito Y, Nakajima T, Uraoka T, Kobayashi N, Ikehara H, Ikenatsu H, Fu KI, Emura F, Ono A, Sano Y, Shimoda T, Fujimori T	病理学 (人体分子)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Gastroenterology 103: 1926-1932, 2008.	Does autofluorescence imaging videoendoscopy system improve the colonoscopic polyp detection rate?--a pilot study.	Matsuda T, Saito Y, Fu KI, Uraoka T, Kobayashi N, Nakajima T, Ikehara H, Mashimo Y, Shimoda T, Murakami Y, Parra-Blanco A, Fujimori T, Saito D	病理学 (人体分子)
Carcinogenesis29:76-83, 2008.	REG I α protein mediates an anti-apoptotic effect of STAT3 signaling in gastric cancer cells.	Sekikawa A, Fukui H, Fujii S, Ichikawa K, Tomita S, Imura J, Chiba T, Fujimori T	病理学 (人体分子)
J Pathol 216: 32-42, 2008.	EXTL3 promoter methylation down-regulates EXTL3 and heparan sulphate expression in mucinous colorectal cancers.	Karibe T, Fukui H, Sekikawa A, Shiratori K, Fujimori T	病理学 (人体分子)
Br J Cancer 98: 1682-1689, 2008.	Expression of SDF-1 alpha and nuclear CXCR4 predicts lymph node metastasis in colorectal cancer.	Yoshitake N, Fukui H, Yamagishi H, Sekikawa A, Fujii S, Tomita S, Ichikawa K, Imura J, Hiraishi H, Fujimori T	病理学 (人体分子)
Surg Today 38: 115-122, 2008	Depth of tumor invasion in locally advanced rectal cancer correlates with patients' prognosis: The usefulness of elastic stain for its measurement.	Katsumata D, Fukui H, Ono Y, Ichikawa K, Tomita S, Imura J, Abe A, Fujita M, Watanabe O, Tsubaki M, Sunagawa M, Fujimori T	病理学 (人体分子)
Int J Cancer 122: 317-324, 2008.	The CD155/poliiovirus receptor enhances the proliferation of ras-mutated cells.	Kono T, Imai Y, Yasuda S, Ohmori K, Fukui H, Ichikawa K, Tomita S, Imura J, Kuroda Y, Ueda Y, Fujimori T	病理学 (人体分子)
Oncol Rep 19: 393-399, 2008.	Inhibitory effects of the cyclooxygenase-2 inhibitor, etodolac, on colitis-associated tumorigenesis in p53-deficient mice treated with dextran sulfate sodium.	Mukawa K, Fujii S, Tomioka K, Yoshitake N, Abe A, Kono T, Sekikawa A, Fukui H, Ichikawa K, Tomita S, Imura J, Ono Y, Shinoda M, Hiraishi H, Fujimori T	病理学 (人体分子)
Oncol Rep 19:609-616, 2008	Expression and cellular localization of TSC-22 in normal salivary glands and salivary gland tumors:Implications for tumor cell differentiation.	Doi Y, Kawamata H, Ono Y, Fujimori T, Imai Y	病理学 (人体分子)
Pathol Int 58:306-310, 2008.	Scierosing variant of epithelioid angiomyolipoma.	Matsuyama A, Hisaoka M, Ichikawa K, Fujimori T, Udo K, Uchihashi K, Aoki S, Hashimoto H	病理学 (人体分子)
Gastrointest Endosc 67:1000-1004, 2008.	A solitary colonic metastasis from gastric cancer detected at an early stage.	Nakamura H, Fu K, Fukui H, Hurlstone DP, Kaji Y, Ishikawa T, Fujimori T	病理学 (人体分子)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Surg Pathol 16: 62, 2008.	Hemorrhagic enteritis due to poisonous mushroom.	Hori K, Fukui H, Fujimori T	病理学 (人体分子)
Digestion 77: 2-12, 2008.	Limits of diagnosis and molecular markers for early detection of ulcerative colitis-associated colorectal neoplasia.	Fujii S, Katsumata D, Fujimori T	病理学 (人体分子)
Int J Cancer 15:317-324, 2008.	The CD155/poliiovirus receptor enhances the proliferation of ras-mutated cells.	Kono T, Imai Y, Yasuda S, Ohmori K, Fukui H, Ichikawa K, Tomita S, Imura J, Kuroda Y, Ueda Y, Fujimori T	病理学 (人体分子)
内視鏡的に切除し得た巨大過形成性ポリープの1例.	内視鏡的に切除し得た巨大過形成性ポリープの1例.	里村仁志, 佐々木欣郎, 深町伸, 萩原信悟, 円谷美也子, 田口泰三, 依田紀仁, 宮地和人, 砂川正勝, 市川一仁	病理学 (人体分子)
病理と臨床 26: 855-857, 2008.	大腸癌取扱い規約に基づく SM 癌浸潤距離の測定法.	市川一仁, 藤盛孝博	病理学 (人体分子)
World J Surg Oncol 6: 48-51. 2008.	Middle bile duct cancer with portal vein tumor thrombus.	Shimoda M, Iso Y, Tomita S, Fujimori T, Murakami K, Sawada T, Kubota K	病理学 (人体分子)
消化器内視鏡20:282-289, 2008.	ESD 食道・大腸への展開 病理診断からみたESDの意義と問題点.	藤井茂彦, 市川一仁, 富田茂樹, 佐藤英章, 関川昭, 福井広一, 井村穰二, 加藤洋, 藤盛孝博	病理学 (人体分子)
消化器内視鏡 20: 63-169. 2008 (2008.02)	NSAIDs関連病変は変わった NSAIDs関連小腸病変の病理学的特徴.	山岸秀嗣, 中村哲也, 福井広一, 富田茂樹, 加藤洋, 藤盛孝博	病理学 (人体分子)
消化器外科 31: 551-559, 2008.	胃癌のすべて 胃癌の基礎 胃癌の病理 胃癌組織の多様性.	藤盛孝博, 福井広一, 藤井茂彦, 富田茂樹, 関川昭, 市川一仁, 山岸秀嗣, 佐藤英章, 加藤洋, 川又均, 今井裕	病理学 (人体分子)
Modern Physician 28: 1026-1033, 2008.	消化器癌 21世紀のサーベイランス 潰瘍性大腸炎に合併する大腸腫瘍とサーベイランス.	藤井茂彦, 市川一仁, 富田茂樹, 関川昭, 福井広一, 井村穰二, 藤盛孝博	病理学 (人体分子)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
メディカルレビュー社. Surgery Frontier 15: 101-103, 2008.	特集：侵襲をめぐるQ&A 癌の発生・進展における COX-2 の意義について教えてください.	福井広一	病理学 (人体分子)
大腸癌 FRONTIER 1:119- 123, 2008.	大腸 SM 癌の内視鏡的切除後の根治度判定	山岸秀嗣, 福井広一, 加藤洋, 藤盛孝博	病理学 (人体分子)
モダンフィジシャン 28: 1026-1033, 2008.	潰瘍性大腸炎に合併する大腸腫瘍とサーベイランス.	藤井茂彦, 市川一仁, 富田茂樹, 関川昭, 福井広一, 井村穰二, 藤盛孝博	病理学 (人体分子)
GI Research 16: 285- 289, 2008.	特集 消化管生理活性ペプチドの最新知見. ガストリン.	関川昭, 福井広一, 千葉勉	病理学 (人体分子)
特集 消化管生理活性ペプチドの最新知見	特集 消化管生理活性ペプチドの最新知見	関川 昭, 福井広一, 千葉 勉.	病理学 (人体分子)
Clin Exp Immunol. 155:16-20, 2008.	Involvement of REG Ialpha protein in the regeneration of ductal epithelial cells in the minor salivary glands of patients with Sjögren's syndrome.	Kimura T, Fukui H, Sekikawa A, Yamagishi H, Ichikawa K, Tomita S, Fujii S, Imura J, Kawamata H, Chiba T, Imai Y, Fujimori T	病理学 (人体分子)
ISDE.10-13, 2008.	Esophageal capsule endoscopy versus magnifying endoscopy for detecting esophageal lesions.	Nakamura T, Yamagishi H, Oinuma T, Masuyama H, Terano A	病理学 (人体分子)
手術 62:399-401, 2008.	カプセルおよびダブルバルーン内視鏡診断後、腹腔鏡下に切除した小腸カルチノイドの1例	多賀谷信美, 阿部暁人, 濱田清誠, 山岸秀嗣, 平石秀幸, 窪田敬一	病理学 (人体分子)
pp395-404 医歯薬出版 東京 2008	モンテプラゼ (monteplase) -冠動脈内血栓溶解療法 抗凝固薬の適正な使い方第二版 櫻川信男、上塚芳郎、和田英夫/編	井上晃男	内科学 (心臓・血管)
Atherosclerosis 196: 469-476, 2008	Increased circulating platelet-derived microparticles are associated with stent-induced vascular inflammation.	Inoue T, Komoda H, Kotooka N, Morooka T, Fujimatsu D, Hikichi Y, Soma R, Uchida T, Node K	内科学 (心臓・血管)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Cardiol 124:319-325, 2008	Interleukin-8 as an independent predictor of long-term clinical outcome in patients with coronary artery disease..	Inoue T, Komoda H, Nonaka M, Kameda M, Uchida T, Node K	内科学 (心臓・血管)
J Cardiol 52:127-132, 2008	Tropical fruit camu-camu (myrciaria dubia) has anti-oxidative and anti-inflammatory properties.	Inoue T, Komoda H, Uchida T, Node K	内科学 (心臓・血管)
Atherosclerosis 201:385-391, 2008	Lipocalin-type prostaglandin D synthase is a powerful biomarker for severity of stable coronary artery disease.	Inoue T, Eguchi Y, Matsumoto T, Kijima Y, Kato Y, Ozaki Y, Waseda K, Oda H, Seiki K, Node K, Urade Y	内科学 (心臓・血管)
Expert Opin Pharmacother 9:1397-1406, 2008	Telmisartan as a metabolic sartan for targeting vascular failure.	Inoue T, Node K	内科学 (心臓・血管)
Hypertens Res 31:2105-2113, 2008	Flow-Mediated Vasodilation as a Diagnostic Modality for Vascular Failure.	Inoue T, Matsuoka H, Higashi Y, Ueda S, Sata M, Shimada K, Ishibashi Y, Node K	内科学 (心臓・血管)
Clinical Cardiology31:567-571,2008.	Risk of heart failure due to a combination of mild mitral regurgitation and impaired distensibility of the left ventricle in patients with old myocardial infarction.	Inami S, Matsuda R, Toyoda S, Hata Y, Taguchi I, Abe S	内科学 (心臓・血管)
第19回日本エコー図学会, 神戸市, 2008.	左房粘液腫と鑑別が困難であった無症候性傍大動脈異所性褐色細胞腫の一例.	大谷直由, 豊田茂, 伊波秀, 荒木秀彦, 有川拓男, 鈴木英彦, 田口功, 阿部七郎, 松田隆子, 金子昇, 望月吉彦	内科学 (心臓・血管)
日本医師会雑誌 137 : 1894-1895, 2008	医療係争事例から学ぶ 大腸内視鏡による穿孔	平石秀幸	内科学 (消化器)
治療 90 (臨増) : 50-51, 2008	【2ページで解説! 診療ガイドダイジェスト】 消化器 胃潰瘍.	平石秀幸	内科学 (消化器)
Progress of Digestive Endoscopy 72:64-65, 2008.	H. pylori除菌抵抗性MALTリンパ腫に対して放射線療法は有効であった1例.	菅谷武史, 富永圭一, 渡辺秀考, 菅家一成, 室久俊光, 増山仁徳, 中村哲也, 菅谷 仁, 平石秀幸	内科学 (消化器)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
124-125、じほう、東京2008.	EBMに基づく胃潰瘍診療ガイドラインQ&A、胃潰瘍ガイドラインの適応と評価に関する研究班編	田嶋章弘、島田忠人、平石秀幸	内科学(消化器)
J Gastroenterol Hepatol. Suppl. 2;S237-241, 2008.	Proton pump inhibitors and recurrent bleeding in peptic ulcer disease.	Tajima A, Koizumi K, Suzuki K, Higashi N, Takahashi M, Shimada T, Terano A.	内科学(消化器)
モダンフィジシャン 28 : 989-993, 2008.	Barrette腺癌とサーベイランス.	田嶋章弘、東奈央子、島田忠人、平石秀幸	内科学(消化器)
Hepatogastroenterology, 55,197-201,2008	Des-gamma-carboxy prothrombin (DCP) ratio is a useful prognostic tumor marker for single nodule hepatocellular carcinoma (HCC),	Murakami N, Tamano M, Yoneda M, Sugaya H, Hiraishi H	内科学(消化器)
Dig Liver Dis, 40,371-8,2008	Noninvasive assessment of liver fibrosis by measurement of stiffness in patients with nonalcoholic fatty liver disease (NAFLD),	Yoneda M, Mawatari H, Fujita K, Ende H, Iida H, Nozaki Y, Yonemitsu K, Higuroshi T, Takahashi H, Kobayashi N, Kirikoshi H, Abe Y, Inanori M, Kubota K, Saito S, Tamano M, Hiraishi H, Masyama S, Yanaguchi N, Togo S, Nakajima A.	内科学(消化器)
J Med Ultrasonics, 35,129-132,2008	Left-sided hepatic hydrothorax diagnosed by contrast-enhanced ultrasonography with intraperitoneal injection of Levovist	Tamano M, Hashimoto T, Kojima K, Yoneda M, Watanabe H, Hoshino T, Matsuura A, Shioya C, Sugaya H, Hiraishi H	内科学(消化器)
消化器内視鏡, 20:1722-1727, 2008	超高齢者消化管癌に対する光線力学的療法(PDT)の有用性と問題点.	中村哲也, 生沼健司, 渡辺秀考, 室久俊光, 玉野正也, 平石秀幸, 寺野彰.	内科学(消化器)
中外医学社 東京 2008.	肝硬変の成因別実態2008 : 肝硬変の成因別実態2008 恩地森一	室久俊光、菅谷仁、中野正和、橋本敬、玉野正也、飯島誠、平石秀幸	内科学(消化器)
Gastrointest Endosc ;50:1375-1377,2008.	日本消化器内視鏡学会専門医学術試験問題とその解説第122回	室久俊光	内科学(消化器)
Dig Dis Sci 2008.	A Randomised prospective trial comparing unsedated endoscopy via transnasal and transoral using 5.5mm video endoscopy.	Watanabe H, Watanabe N, Ogura R, Nishino N, Saifuku Y, Hitomi G, Okamoto Y, Tominaga K, Yoshitake N, Yamagata M, Orui M, Hiraishi H	内科学(消化器)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
消化器内視鏡20:419-425, 2008.	【経鼻内視鏡は本当に楽なのか?】 極細径経口内視鏡との比較.	渡辺秀考, 渡辺菜穂美, 小倉利恵子, 西福康之, 人見玄洋, 岡本裕, 大類方己, 中村哲也	内科学 (消化器)
分子病態学 中外医学社, pp208-220, 2008.	5. 造血器腫瘍 a. 慢性骨髄性白血病 b. 急性前骨髄球性白血病 c. 悪性リンパ腫. 一瀬百希, 鈴木宏治編, 図説	三谷絹子	内科学 (血液)
南光堂, pp473-508, 2008.	第13章 血液疾患. 寺野 彰編, シンプル内科学	三谷絹子	内科学 (血液)
処方計画法 永井書店, pp314-315, 2008.	血栓性血小板減少性紫斑病. 総合臨床 (2008増刊) 新版	新井幸宏, 三谷絹子	内科学 (血液)
医薬ジャーナル社, pp46-54, 2008.	3. 遺伝子異常 1) MDSにみられる遺伝子異常. 朝長万左男編, みんなに役立つ骨髄異形成症候群 (MDS) の基礎と臨床	三谷絹子	内科学 (血液)
Cancer Sci 99: 414-422, 2008.	Histone deacetylase inhibitors trichostatin A and valproic acid circumvent apoptosis in human leukemic cells expressing the RUNX1 chimera.	Sasaki K, Yamagata T, Mitani K	内科学 (血液)
Leukemia 22: 1871-1881, 2008.	Myelodysplastic syndrome with chromosome 5 abnormalities: A nationwide survey in Japan.	Tasaka T, Tohyama K, Kishimoto M, Ohyashiki K, Mitani K, Hotta T, Kanamaru A, Okamoto S, Karasawa M, Kimura A, Tomonaga M, Uchiyama T, Ozawa K	内科学 (血液)
Cancer Sci 99: 1878-1883, 2008	Role of the RUNX1-EV11 fusion gene in leukemogenesis.	Maki T, Yamagata T, Mitani K	内科学 (血液)
日本臨床 3, 513-519, 2008.	骨髄異形成症候群 特集 貧血	三谷絹子	内科学 (血液)
骨髄異形成症候群の基礎と臨床 40, 4-7, 2008.	ここまで解明されたMDS発症の分子機構 細胞THE CELL 特集	三谷絹子	内科学 (血液)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Current Therapy 特集骨髄増殖性疾患 26, 79-80, 2008.	骨髄増殖性疾患におけるTEL異常の関与	石前峰齊、三谷絹子	内科学 (血液)
診断と治療 96, 802-811, 2008.	造血器腫瘍の発症機序と分子標的療法	佐々木光、三谷絹子	内科学 (血液)
総合臨床 57, 314-315, 2008.	血栓性血小板減少性紫斑病	新井幸宏、三谷絹子	内科学 (血液)
成人病と生活習慣病 38, 725-732, 2008.	骨髄異形成症候群 (MDS) に対する分子標的治療薬の現状と将来特集/分子標的治療薬の基礎と臨床	佐々木光、三谷絹子	内科学 (血液)
Cancer Science 99:414-422, 2008.	Histone deacetylase inhibitors trichostatin A and valproic acid circumvent apoptosis in human leukemic cells expressing the RUNX1 chimera.	Sasaki K, Yamagata T, Mitani K	内科学 (血液)
Molecular profiling reveals distinct functional attributes of CD1d-restricted natural killer (NK) T cell subsets.	Molecular profiling reveals distinct functional attributes of CD1d-restricted natural killer (NK) T cell subsets.	Rolf J, Berntman E, Stenström M, Smith E, Mansson R, Stenstad H, Yamagata T, Agace W, Sigvardsson M, Cardell SL	内科学 (血液)
分子細胞治療7巻、第5号、p76-77、2008	RNAiを用いた5q-症候群候補遺伝子の同定	山形哲也、三谷絹子	内科学 (血液)
クリニカルスタディ Vol.29, No. 9, p51-57, 2008.	白血病の理解.	仲村祐子、三谷絹子	内科学 (血液)
先端医学社, 東京, pp84-85, 2008.	血清尿酸値と微量アルブミン尿. 荻原俊男編, 日常臨床に役立つ高血圧診療のエビデンス.	石光俊彦	内科学 (循環器)
先端医学社, 東京, pp118-119, 2008.	高血圧リスクとしての高脂血症. 荻原俊男編, 日常臨床に役立つ高血圧診療のエビデンス.	石光俊彦	内科学 (循環器)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hypertens Res 31: 1703-1709, 2008.	Predictive significance of blood pressure values for the incidence of cardiovascular events in chronic hemodialysis patients.	Ishimitsu T, Nakano N, Sudo Y, Akashiba A, Takahashi T, Ohta S, Minami J, Matsuoka H	内科学 (循環器)
臨床透析 24: 1705-1710, 2008.	慢性血液透析患者におけるポリスチレン酸Na末とにおけるポリスチレン酸ゼリーの比較	石光俊彦, 中野信行, 須藤泰代, 古堅聡, 赤芝聖, 亀田智子, 高橋利明, 太田智, 南順一, 沼部敦司, 岡村篤, 松岡博昭	内科学 (循環器)
Medical Practice 25: 271-276, 2008.	CKD患者における心・血管の評価.	石光俊彦	内科学 (循環器)
循環器科 64: 211-216, 2008.	わが国における高血圧大規模臨床試験の現況—日本が参加した国際的試験: PROGRESS, RENAALなど.	石光俊彦	内科学 (循環器)
アニテックス 20: 3-10, 2008.	実験動物を用いた高血圧研究	石光俊彦	内科学 (循環器)
診断と治療 96 (Suppl): 257-266, 2008	急な血圧上昇	石光俊彦	内科学 (循環器)
心エコー 9: 684-692, 2008.	糸球体濾過量と心臓—なぜCKDが注目されるのか?	石光俊彦:	内科学 (循環器)
血圧 15: 707-711, 2008.	pre-hypertensionに対する薬物療法.	石光俊彦	内科学 (循環器)
循環plus 9: 7-9, 2008.	CKDと動脈硬化	石光俊彦	内科学 (循環器)
Pacing Clin Electrophysiol 31: 621-623, 2008.	Delayed pericarditis associated with an implantable cardioverter defibrillator implantation using an active-fixation atrial lead.	Kono K, Todoroki M, Karasawa T, Ito I, Tadokoro K, Shinbo G, Horinaka S, Matsuoka H, Mochizuki Y	内科学 (循環器)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Cardiol 51: 205-209, 2008.	Right atrial abnormalities in a patient with arrhythmogenic right ventricular cardiomyopathy without ventricular tachycardia.	Takemura N, Kono K, Tadokoro K, Shinbo G, Ito I, Abe C, Matsuhashi N, Iemura T, Nishikimi T, Horinaka S, Matsuoka H	内科学 (循環器)
Angiology 2008 Nov 17. [Epub ahead of print].	Comparison of atherosclerotic indicators between cardio ankle vascular index and brachial ankle pulse wave velocity.	Horinaka S, Yabe A, Yagi H, Ishimura K, Hara H, Iemura T, Matsuoka H	内科学 (循環器)
Am J Hypertens 21: 72-77, 2008.	Effects of an ARB on endothelial progenitor cell function and cardiovascular oxidation in hypertension.	Yu Y, Fukuda N, Yao EH, Matsumoto T, Kobayashi N, Suzuki R, Tahira Y, Ueno T, Matsumoto K	内科学 (循環器)
Am J Hypertens 21: 224-230, 2008.	Cardioprotective effect of benidipine on cardiac performance and remodeling in failing rat hearts.	Ohno T, Kobayashi N, Yoshida K, Fukushima H, Matsuoka H	内科学 (循環器)
Am J Hypertens 21: 576-581, 2008.	Cardioprotective mechanism of telmisartan via PPAR- γ -eNOS pathway in Dahl salt-sensitive hypertensive rats.	Kobayashi N, Ohno T, Yoshida K, Fukushima H, Mamada Y, Nomura M, Hirata H, Machida Y, Shinoda M, Suzuki N, Matsuoka H	内科学 (循環器)
Am J Hypertens 21: 1062-1068, 2008.	Effects of the antioxidative beta-blocker celiprolol on endothelial progenitor cells in hypertensive rats.	Yao EH, Fukuda N, Matsumoto T, Katakawa M, Yamamoto C, Han Y, Ueno T, Kobayashi N, Matsumoto K	内科学 (循環器)
南江堂, 東京, pp424-427, 2008	高血圧の非薬物療法. 堀正二, 永井良三編, 循環器疾患最新の治療2008-2009.	南順一, 松岡博昭	内科学 (循環器)
メディカルビュー社, 東京, pp44-48, 2008.	PWVとAI: 関連と相関. 小澤利男編, 新しい血圧測定と脈波解析マニュアル.	南順一, 阿部麗子, 大野絵里	内科学 (循環器)
中外医学社, 東京, pp245-247, 2008.	メタボリックシンドロームと虚血性心疾患. 片山茂裕編, キーワードでわかる!メタボリックシンドローム.	南順一	内科学 (循環器)
中外医学社, 東京, pp253-256, 2008.	メタボリックシンドロームと喫煙. 片山茂裕編, キーワードでわかる!メタボリックシンドローム.	南順一	内科学 (循環器)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Hypertens 21: 10-13, 2008.	Pretreatment plasma renin activity levels correlate with the blood pressure response to telmisartan in essential hypertension.	inami J, Ishimitsu T, Matsuoka H	内科学 (循環器)
Am J Hypertens 21: 130-131, 2008.	Is there overlap in blood pressure response to the blockers of the renin-angiotensin system between lower and higher renin subjects?	Minami J, Ishimitsu T, Matsuoka H	内科学 (循環器)
Alcohol Clin Exp Res 32: 1937-1946, 2008.	Effects of functional polymorphisms related to catecholaminergic systems on changes in blood catecholamine and cardiovascular measures after alcohol ingestion in the Japanese population.	Nishimura FT, Kimura Y, Abe S, Fukunaga T, Minami J, Tanii H, Saijoh K	内科学 (循環器)
A systematic review. JAMA 300: 2886-2897, 2008.	Birth weight and risk of type 2 diabetes.	<small>Takawa JK, Gary SJ, Owa GS, Butler S, Cook DG, Jackson S, Barrett-Connor E, Bhargava SK, Hingorani SG, Carlsson A, de Zeeuw D, Dyck PJ, Eriksson JK, Falster M, Fall C, Ferrara T, Gillin Y, Gokhale N, Wilson J, Wongrow E, Joffres A, Lertzer SM, Leon DA, Miana J, Miska C, Omond C, Power C, Rich-Edwards JW, Sarfoom EI, Sacks DM, Schmidt H, Therasse P, Vanden B, Fawcett H, Tehranchi BT</small>	内科学 (循環器)
Arterial Stiffness 14: 114-115, 2008.	中心血圧/AIと日内変動との関連性について教えてください。	南順一	内科学 (循環器)
血圧 16: 327-329, 2008.	ABPMを保健指導に生かすには？	南順一	内科学 (循環器)
井上雄一、内村直尚、平田幸一編, RESTLESS LEGS SYNDROME, アルタ出版, 東京, pp26, 2008	Caseにみるレストレスレッグス症候群	平田幸一	内科学 (神経)
井上雄一、内村直尚、平田幸一編, RESTLESS LEGS SYNDROME, アルタ出版, 東京, pp57-64, 2008	レストレスレッグス症候群の病態生理。	平田幸一	内科学 (神経)
Neurology 70: 82-83, 2008	Phantom arm and leg after pontine hemorrhage	Tanaka H, Arai M, Kadowaki T, Takekawa H, Kokubun N, Hirata K	内科学 (神経)
Intern Med 47: 225-229, 2008	Usefulness of the Japan Stroke Scale-Depression Scale-(JSS-D) for the diagnosis of post-stroke depression.	Kaji Y, Hirata K	内科学 (神経)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日医雑誌 136: 2191-2195, 2008	緊張型頭痛の病態と治療	平田幸一	内科学 (神経)
日本頭痛学会誌 35: 15-18, 2008	肩こりと緊張型頭痛.	平田幸一	内科学 (神経)
JIM 18: 854-855, 2008	Restless legs syndrome.	平田幸一	内科学 (神経)
Progress in Epileptic Disorders Volume5: Event-related Potentials in Patients with Epilepsy: from current state to future prospects. John Libbey	Methodological aspects of ERP:integration approach from temporal and spatial domain.	Tanaka H, Hirata K	内科学 (神経)
Neurology 70: 82-83, 2008	Phantom arm and leg after pontine hemorrhage.	Tanaka H, Arai M, Kadowaki T, Takekawa H, Kokubun N, Hirata K	内科学 (神経)
臨床脳波 50: 18-25, 2008	臨床生理学的手法を用いたアルツハイマー病治療の客観的薬効評価.	田中秀明, 星野雄哉, 小川知宏, 桜井邦彦, 平田幸一	内科学 (神経)
日本薬物脳波学会誌 9: 35-39, 2008	アルツハイマー病に対する塩酸ドネペジルの有効例と無効例の聴性中潜時反応による検討.	星野雄哉, 田中秀明, 小川知宏, 渡邊由佳, 穂積昭則, 平田幸一	内科学 (神経)
臨床神経生理学 36: 233-240, 2008	筋萎縮性側索硬化症の認知機能の評価 - 事象関連電位を用いた検討 - .	小川知宏, 田中秀明, 平田幸一	内科学 (神経)
Intern Med 47): 1285-1286, 2008	Giant cell arteritis associated with lesion of the internal carotid artery: assessment of response to atteroid therapy by magnetic resonance angiography.	Takekawa H, Daimon Y, Takashima R, Aiba S, Tanaka H, Hirata K	内科学 (神経)
Intern Med 47: 2101-2102, 2008	Usefulness of echo-planar T2* susceptibility-weighted imaging for reliable diagnosis of cerebral venous sinus thrombosis.	Takekawa H, Tanaka H, Ogawa T, Niijima Y, Sada T, Daimon Y, Hirata K	内科学 (神経)